

松川村議会だより

第168号
9月定例会

平成28年度決算は各会計すべて黒字

◀ 8月21日 芦間川堰堤工事と上流の視察



平成29年第3回定例会は、9月7日から20日までの14日間の会期中で開催しました。初日に、松川村いじめ問題対策連絡協議会等条例・平成29年度各会計補正予算等6件を全会一致で可決し、最終日には、議案等審査特別委員会に付託した平成28年度各会計決算に意見書を付し、国への意見書1件を含む議案7件を可決承認しました。一般質問には、6名の議員が登壇しました。(内容詳細は16・17ページ) 会期中延べ32名の傍聴がありました。

平成28年度決算に付した意見

〔共通事項〕

- 村税等の収納率はいずれも向上し努力がみえるが、公平性を保つため引き続き収納率の向上に努められたい。
- 男女共同参画社会推進計画の女性の参画に向かって、更に推進されたい。
- 電気料自由化への取組みによる光熱費の削減を評価する。
- 安曇野ちひろ公園のトットちゃん広場が、村内外の注目を得てオープンした。冬期間も特色あるイベントで集客を図り、PR活動等に努め引き続き進められたい。

〔個別事項〕

福祉課

- 特定健診の受診率が年々向上している。今後も健康長寿村を目指して努力されたい。

経済課

- 多面的機能支払事業等、農業支援への取組みを評価する。更なる推進に努められたい。
- 松林健全化整備業務を、引き続き強力に進められたい。

子育て応援課

- 認定こども園へ移行し、教育や保育の質を高める努力がうかがえる。今後に期待する。

9月定例議会 議案審議結果 すべて全会一致で承認・可決（千の位を切り捨て）

件名	内容
松川村いじめ問題対策連絡協議会等条例	いじめ防止対策推進法の規定に基づき、松川村いじめ問題対策連絡協議会組織に関し必要な事項を定める。
平成29年度松川村一般会計補正予算（第2号）	5316万円追加し41億3308万円とする。
平成29年度松川村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	464万円追加し11億9264万円とする。
平成29年度松川村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	495万円追加し1億219万円とする。
平成29年度松川村公園墓地造成事業特別会計補正予算（第1号）	4千円追加し409万円とする。
平成29年度松川村特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	69万円減額し5億6935万円とする。
平成28年度松川村一般会計歳入歳出決算書	歳入総額43億525万円、歳出総額42億7164万円差引残高3361万円
平成28年度松川村国民健康保険特別会計歳入歳出決算書	歳入総額11億3788万円、歳出総額11億3718万円差引残高70万円
平成28年度松川村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書	歳入総額9706万円、歳出総額9693万円差引残高13万円
平成28年度松川村公園墓地造成事業特別会計歳入歳出決算書	歳入総額1831万円、歳出総額1831万円
平成28年度松川村特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算書	歳入総額4億3423万円、歳出総額4億3274万円差引残高149万円
平成28年度松川村水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	水道事業収益1億8854万円、水道事業費1億5427万円、純利益3427万円3427万円減債積立金に処分。
道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律による補助率等の嵩上げ措置の継続に関する意見書	「道路財特法」の時限措置に伴い、来年度以降も引き続き道路財特法の補助率の嵩上げ措置を強く要望する。

陳情の議案審議結果

件名	採決結果
私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	全会一致で趣旨採択
核兵器禁止条約に調印・批准することを求める意見書の提出を求める陳情	不採択に賛成8・反対3

一般質問 6人の議員が登場

平成29年9月19日



子ども未来センターと子育て支援

矢口あかね

問 開館の日程と記念行事の予定、建築費は。

答 来年4月の開館で、子育て関連の講演会を予定している。建築費は約3億9300万円。

問 目的と設備内容は。

答 18歳までの子どもと子育て世代の居場所。ポルダリング・バドミントン・ダンス・学習室や乳幼児と保護者のための部屋などで、年末年始以外は開館したい。

問 今後の事業は。

答 県の子育て支援合同検討チームの「育つ環境に関わらず、自分の未来を切り開ける子ども」に沿って検討し事業化する。

問 18歳までの医療費窓口無料化の進捗は。

答 全県で来年8月より中学3年生まで、1レセプト500円で医療機関の受診が可能となる。

問 給食費・保育料の無償化についての考えは。



村の防災対策

草間 正視

問 村内にある、デイサービス、ショートステイ、老健、特養ホームの数と、1日の利用者数は。

答 入所施設5、特養ホーム1、老人保健施設2、グループホーム1、有料老人ホーム1、在宅サービスの通所施設12で定員数193名、1日平均180名利用。

問 災害時要配慮者関連

施設は、村からの要請及び区からの依頼に対して出動協力体制をとる。

問 土砂災害警戒避難マニュアル作成ガイドラインが提示されたが、村内施設でこれが義務付けら



村農業の現状

梨子田長生

問 新規農業に従事する為の条件は。

答 農業委員会の許可と農地の取得2割必要。

問 具体的な手続きは。

答 営農支援センターや経済課で相談して欲しい。県には里親制度もある。

問 過去5年間で新規就農者は何人増えたか。

答 12名増えた。

問 農業法人、個人、集落のメリットは。

答 581戸で51割。

問 村観光協会のネット

情報がある。

答 早急に新しい情報に直す。

問 林遊館の利用状況と

今後について。

答 今県外の団体より

キャンプ場の利用と林遊

館の利用の話があるが今

暫く時間が欲しい。

問 パターゴルフ場の現

況は。

答 約50万円で草刈りが

できる。来年は予算を計

上して対応する。

問 農地の賃貸料は。

答 話し合いで参考の

データを提示し決める。

問 村営農支援センター

の役割は。

答 村農業の発展や農家

の増収のために支援。

問 米品目とその割合は。

答 コシヒカリ75割、美

山錦19割、飼料米約3割。

問 減反政策の考えは。

答 3年前から農家の自

主判断に任せているの

で、継続したい。農家と

行政が協力していく。



地方創生と総合戦略

平林 幹張

- 問 推進事業について。
- 答 市場調査中間報告は、10月下旬、協議会にてJTBと検討。
- 問 加速化交付金の検証。
- 答 ちひろ公園、農業体験共に、集客は1万6111人。
- 問 受入体制の整備、農家民泊と民泊の位置づけ。
- 答 県の民泊協議会を通じて協議して進める。
- 問 新たな特産品の開発と地域ブランド品の創出。
- 答 新規ではなく従来のものの発掘と複合的な利活用、総合メニュー活用。
- 問 観光エリア形成。
- 答 大糸線沿線を通じた広域ネットワーク、北アルプス自立圏、信州まともと空港誘客促進事業等。
- 問 優良企業誘致と雇用の場の確保で明科陸運棟の効果は。
- 答 従業員の雇用や住宅用地の確保等申入れ済み。既存企業への支援は。
- 問 村制度利子補給、県制度を活用した支援、後継者育成セミナー等実施。
- 問 松川村むらづくり条例と土地利用計画。
- 答 現在まで秩序ある開発の推移、諸問題は32年までに精査し条例改定に臨む。
- 問 良好な景観形成、土蔵、屋敷林、茅葺屋根、生垣等の助成は。
- 答 屋敷林について例年10件程度の申請がある。
- 問 住環境整備について。
- 答 住宅・道路・橋梁について長寿命化対策に補助金を併用して計画的に進めていく。
- 問 安心安全な地域の推進、地域医療の充実。
- 答 病院群の病床減数に対し苦言を申し上げてある。この結果を待ちたい。
- 問 防災無線更新（デジタル化）について。
- 答 31年に向けてアナログを残すことも含めてメーカーと協議中。



りんりん2号の運行に関連して

上田 治美

- 問 あづみ病院へのデマンド型乗り合いタクシーを検討しては。
- 答 担当課とよく話しをするが、他の医院利用者との関係等課題が多い。
- 問 来年から新制度に移行するが、村への影響は。
- 答 現状では保険料引き上げの状況にない。
- 問 医療費が納付金に反
- 問 映するなら特定検診に加えて人間ドックや癌検診の受診増を推進しては。
- 答 検診で重症患者を防ぐことは大事なことです。
- 問 国保は助け合いの制度か、社会保障制度か。
- 答 助け合いと社会保障とどちらもある。
- 問 国保制度を維持するため国に国庫負担の増額を求めてほしいが。
- 答 今後とも要望していく。
- 問 村の防災訓練で避難誘導の実演が見られた。今後は避難所生活等の体験をしないか。
- 答 区からの要望があれば実施したい。
- 問 Jアラートが聞こえない聴覚障がい者に回転灯など期待したい。
- 答 国から携帯電話に緊急速報のメールが一斉配信され、村防災システム
- 問 9月2日に学習会を開催したが成果は。
- 答 聴覚障がい者は見ただけでは判らないので、周りで気配りが必要。参加者で手話を学んだ。



村防災訓練の成果と今後

佐藤 節子

問 村の所得分布は所得なしが24割、150万円以下が71割となつている。軽減額はいくらか。

答 7割、5割、2割の軽減で合計3300万円。

問 資格証明証、短期被保険者証の交付状況は。

答 資格証明証は交付していない。短期被保険者証は1カ月、3カ月、6ヶ月で公布している。

問 保険料減免、一部負担金と減免猶予の件数は。

答 被扶養者減免が3件

問 南神戸周辺で芦間川の河床が高くなり、南神戸橋手前で川幅が狭い。対策が必要と思うが。

答 大町建設事務所の計画が早く決まるよう働きかける。近く県と懇談し、現地を確認する予定。

問 村の所得分布は所得なしが24割、150万円以下が71割となつている。軽減額はいくらか。

答 7割、5割、2割の軽減で合計3300万円。

問 資格証明証、短期被保険者証の交付状況は。

答 資格証明証は交付していない。短期被保険者証は1カ月、3カ月、6ヶ月で公布している。

問 保険料減免、一部負担金と減免猶予の件数は。

答 被扶養者減免が3件

問 南神戸周辺で芦間川の河床が高くなり、南神戸橋手前で川幅が狭い。対策が必要と思うが。

答 大町建設事務所の計画が早く決まるよう働きかける。近く県と懇談し、現地を確認する予定。

議員研修会

議会改革推進委員会

平成29年7月12日

村議会は本年度議会改革推進委員会を立ち上げ意見交換会を実施してきました。

申し合わせ事項の明文化等様々な事項を検討してきました。更に議会改革を推進するため、長野県町村議会議長会の政務課副参事宮寄康史氏を講師にお迎えし、研修会を開催しました。



常任委員会活動

富士宮市視察研修

平成29年6月29日

総務産業建設常任委員会と社会福祉文教常任委員会は合同で、「市営バスの運行」と「ごみの減量と資源化」について、静岡県富士宮市で視察研修を行いました。

宮バスは市営のコミュニケーションバス、宮タクは市営のデマンド（予約）制乗合いタクシーの略語です。

宮タク・宮バスは、民間路線バスの廃止が進む中、交通弱者といわれる高齢者・障がい者の足を財政負担が少なく低料金でいかに確保するかが課題となり、三位一体で始まった事業です。



▶市内を走る宮バス

特に宮タクはバス並みの料金でドアtoドア（自宅まで迎えに行く）運行サービスで、システムを構築するまでの努力と苦労がうかがえました。



▶富士宮市役所での研修の様子

「ごみ減量化と資源化」では、ごみダイエクトプロジェクトを立ち上げ様々な啓発活動を展開し、排出量の削減に成功した事例をうかがいました。

曇り空でしたが、瞬間でも富士山の峰を観ることができ意義ある視察研修でした。

芦間川災害緊急治山工事視察

平成29年8月21日

昨年8月の台風による芦間川上流における土石流災害復旧工事を視察しました。

林野庁中信森林管理署長と職員、施工業者の榎相模組による説明では、埋没した既存の堰堤の上流にコンクリート堰堤を3基施工中で、12月中旬



▶芦間川災害復旧工事現地視察

は完成予定との事でした。

大規模工事に圧倒されましたが、自然の猛威は人の想像を遙かに超えることを忘れてはならないと改めて感じました。

また、こべ沢堰堤工事は平成31年秋完成予定で、進捗も併せ現地を確認しました。



▶林野庁職員・榎相模組による工事説明

近隣町村議会議員と交流

三村交流会

平成29年7月7日

小谷・白馬・松川三村の議会議員交流会が白馬村の当番で、岩岳スキー場と青鬼地区で開催されました。

岩岳スキー場では、白馬村がグリーンシーズン期の観光の目玉にしたい、ゆり園とマウンテンバイクの視察研修を行いました。

また、青鬼地区では、古民家を生かし日本の原風景を観光にし



▶青鬼地区の古民家で研修

池田町・松川村理事者議会議員行政連絡会を池田町で開催

平成29年8月9日

▼長野県町村議会議長会政務課宮崎康史副参事による、議会運営・一般質問についての研修会を池田町創造館で実施しました。



高瀬川高水敷整備 促進期成同盟会総会

平成29年7月11日

議案は平成28年度事業報告・収支決算の承認と監査報告。29年度事業計画・予算案、役員改選の6議案で全て可決承認しました。

閉会後に、牛越会長から顧問の望月雄内県会議員に、総会で決議した河川環境の整備促進の要望書を安曇野市・大町市・池田町・松川村の首長連名で提出しました。内容は左記のとおりです。

- ①安曇野市 安曇橋上流左岸低水護岸の早期着工を。
- ②松川村 福祉施設周辺低水護岸

区長会と議会の交流会

平成29年7月19日

議会が当番で、区長会と交流会を開催しました。今年度は意見交換会を東松川区と実施しましたが、ほかに希望のグループなど紹介していただきたいと願いました。各区長の方々の有意義な意見交換の交流会でした。

の早期完成を。

③池田町

林中地区低水護岸の早期着工を。

④大町市

常盤地区低水護岸の早期着工を。

高瀬広域水道 企業団議会

臨時会

平成29年8月2日

- 審議事項
 - ・議長選挙について
 - ・議長に勝野富男氏(大町市)を選任
- 定例会

平成29年8月23日

- 審議事項
 - ・平成28年度会計決算
 - ・審議結果
 - ・原案のとおり認定

穂高広域施設 組合議会臨時会

平成29年8月3日

- 審議事項
 - ・平成28年度一般会計補正予算の専決処分報告
 - ・平成29年度各会計補正予算
 - ・監査委員の選任について

審議結果

- ・各議案を原案のとおり承認並びに可決
- ・監査委員に那須博天議員(池田町)を選任

北アルプス広域 連合議会定例会

平成29年8月23・24日

会期は2日間の日程で決算認定案件6件、予算案件6件、計12件の議案

が上程され、説明質疑委員会付託、討論、採決が行われ、全議案を原案のとおり承認並びに可決しました。

本会議終了後、全員協議会では、白馬リサイクルセンターの整備スケジュールの変更、介護保健制度改正、平成28年度高齢者等実態調査結果についての説明がありました。

編集後記

今年のふるさと祭りは豪雨に見舞われたが、敬老の日は、なんと朝6時頃から松川村に大きな虹の二重橋が架かりお天道様が長寿村をお祝いして下さった。

「老」の字は老人が腰を曲げて杖を突いた象形文字とか。しかし土手で虹を撮るカメラマンの中には八十代の男性も見え、元気を頂いた。

「議会だより」の頁数は少ないが、読みやすく議会活動を写真や文字で報告している。皆様からのご意見をお待ち申し上げます。

佐藤節子

活動のひとこま



▶8月5日
ふるさと祭り議会のお店



▶8月15日
恒久平和祈念式で献花



▶8月15日
ふるさと祭り踊りの輪

本会議の様子をインターネット配信しています。
松川村議会で検索してください。

議会報編集委員会

- 委員長 佐藤 節子
- 副委員長 上田 治美
- 委員 茅野 靖昌
- 委員 梨子田長生
- 草間 正視